

バイオサイエンス特別演習 (4単位)

担当者氏名 林 隆久・喜田 聡・河野友宏・坂田洋一・新村洋一・矢嶋俊介・吉川博文・川崎信治・
千葉櫻 拓・梅澤明弘・齊藤英和・田中良明・秦 健一郎・河久津英憲・宮戸健二

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者あるいは高度専門技術者となるため、研究課題を設定し、研究計画を立案する。技術や研究手法を修得し、様々な研究のケーススタディを行い、その結果をとりまとめる。バイオサイエンスに関わる研究の意義を理解し、立案から遂行、発表までを独立した研究者あるいは高度な専門家として自らを鍛え、更に指導者としての見識と実力を得る。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

分子生物学 生化学 細胞生物学 有機化学
実験計画法 農芸化学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の 内容と分量
1	修士号の意味や意義	取得の意味、修士が社会に果たす役割などを学ぶ	事前に指導教授と打ち合わせ。
2	修士論文研究の進め方	博士前期課程における研究の進め方について学ぶ	先輩の修論を読む。
3	既往研究の整理	修士論文計画に関する論文を読む	概略を記し持参する。
4	既往研究の整理	既往の研究をとりまとめ、研究課題を明らかにする	学術文献の収集・読破。
5	研究計画発表	研究計画に必要な修正を加える方法を学ぶ	プレゼンと要旨作成。
6	関係論文の探索	複数の論文を読み、その内容をとりまとめる	関連文献のリスト化。
7	関連研究のケース スタディ	複数の論文を読み、自身の計画を修正・補足する	関連文献の修正・補足。
8	実験方法の ケーススタディ	関連する実験方法の論文を読み、方法を定める	関連文献の修正・補足。
9	研究意義の考察	期待される研究成果の考察	成果インパクト予習。
10	中間発表(目的・意義・ 実験)	研究の方向や進捗状況を評価する方法を学ぶ	ディベートを学ぶ。
11	研究ケーススタディ	先端情報の取得と、専門分野の知識を学ぶ	研究者の論文を読む。
12	研究ケーススタディ	先端情報の取得と、専門分野の英語を学ぶ	研究者の論文を読む。
13	研究成果のプロセス 反省	プロセスを学ぶとともに反省する	プロセスの考察。
14	完璧なプレゼン法習得	多くの人に分かり易い研究成果を整理する	研究成果の準備。
15	修士論文執筆	修士論文の執筆と論理の構成を学ぶ	論理の構成を準備。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
関連論文・総説を読む。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
関連論文・総説を読む。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

研究成果と修士論文の採点。

◆オフィスアワー

毎昼休み時間 (12:20~13:00)

◆その他受講上の注意事項

特になし